

# 福井県感染症発生動向調査速報

<<平成22年>>

<週報> 第15週 (平成22年 4月12日 ~ 4月18日)

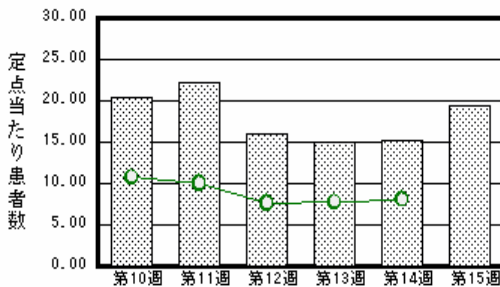
発行日: 平成22年4月21日

発行: 福井県健康福祉部健康増進課  
福井県衛生環境研究センター  
kansen@erc.pref.fukui.jp

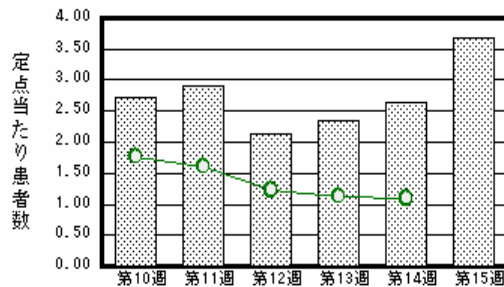
## 注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎429名(19.50名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎81名(3.68名) 手足口病69名(3.14名) 水痘30名(1.36名) 伝染性紅斑19名(0.86名)  
( )内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(429名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(81名) 手足口病(69名) 水痘(30名) 伝染性紅斑(19名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は429名です。定点当たり報告数は増加しました(15.18名 19.50名)。地域別にみると、福井地区26.86名、丹南地区24.80名、奥越地区19.00名、坂井地区14.67名、二州地区7.00名、若狭地区7.00名の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は81名です。定点当たり報告数は増加しました(2.64名 3.68名)。地域別にみると、二州地区6.00名、丹南地区6.00名、坂井地区4.33名、福井地区2.29名、奥越地区2.00名の順となっています。
- 【手足口病】報告数は69名です。定点当たり報告数は増加しました(2.45名 3.14名)。地域別にみると、坂井地区4.67名、丹南地区4.60名、福井地区4.29名、二州地区0.67名の順となっています。
- 【水痘】報告数は30名です。定点当たり報告数は増加しました(1.00名 1.36名)。地域別にみると、福井地区1.86名、二州地区1.67名、若狭地区1.50名、丹南地区1.40名、奥越地区0.50名、坂井地区0.33名の順となっています。

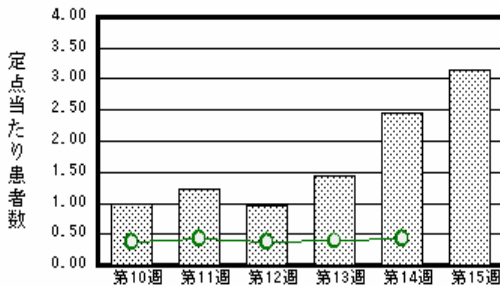
感染性胃腸炎



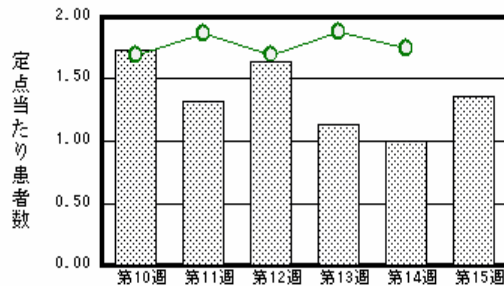
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



手足口病



水痘



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

## 感染症週報全国版の要点

2010年第13週号(3月29日~4月4日)要点

発生動向総覧	<第13週>手足口病の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向
注目すべき感染症	<A型肝炎> 2010年の報告数は、第10週以降急増しており、3月の報告数は2007年以降の各月の報告数と比較して最多であった
病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2009年 / 感染性胃腸炎関連ウイルス2009/10シーズン / インフルエンザウイルス2009/10シーズン
速報	血液疾患患者からのオセルタミビル耐性新型インフルエンザウイルスA/H1N1pdm分離 - 北九州市
海外感染症情報	<今週は該当記事はありません>
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:結核2名の報告がありました。
- 3類感染症:報告はありませんでした。
- 4類感染症:報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。  
(なお、アメーバ赤痢は第14週に1名の報告がありました。)

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 平成22年 第15週 平成22年4月12日(月)～平成22年4月18日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(14週)
小児科 (22)	インフルエンザ (32) インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)	4 0.36						4 0.13	3 0.09	576 0.12
	RSウイルス感染症	4 0.57				2 1.00	1 0.20	7 0.32	5 0.23	754 0.25
	咽頭結膜熱	3 0.43	1 0.33			4 2.00	2 0.40	10 0.45	10 0.45	515 0.17
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16 2.29	13 4.33	18 6.00		4 2.00	30 6.00	81 3.68	58 2.64	3334 1.10
	感染性胃腸炎	188 26.86	44 14.67	21 7.00	14 7.00	38 19.00	124 24.80	429 19.50	334 15.18	24498 8.08
	水痘	13 1.86	1 0.33	5 1.67	3 1.50	1 0.50	7 1.40	30 1.36	22 1.00	5316 1.75
	手足口病	30 4.29	14 4.67	2 0.67			23 4.60	69 3.14	54 2.45	1297 0.43
	伝染性紅斑	4 0.57	1 0.33	13 4.33			1 0.20	19 0.86	15 0.68	660 0.22
	突発性発しん	8 1.14		1 0.33			3 0.60	12 0.55	14 0.64	1818 0.60
	百日咳	1 0.14						1 0.05		87 0.03
	ヘルパンギーナ	2 0.29						2 0.09	1 0.05	302 0.10
	流行性耳下腺炎	7 1.00		4 1.33	5 2.50		1 0.20	17 0.77	20 0.91	3486 1.15
眼科 (3)	急性出血性結膜炎		*	*	*	*				17 0.03
	流行性角結膜炎									366 0.54
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								1 0.17	6 0.01
	無菌性髄膜炎		*							13 0.03
	マイコプラズマ肺炎									126 0.28
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									7 0.02

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。

\*欄には定点はありません

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成22年第15週 平成22年4月12日(月)～平成22年4月18日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	
～5ヶ月		～5ヶ月	1			4				1				～5ヶ月							
～11ヶ月		～11ヶ月	2	3		26	1	4		6				～11ヶ月							
1歳		1歳	2	3		88	10	24	1	3		1		1歳							
2歳		2歳	1	2	8	66	8	28	2	2		1	1	2歳							
3歳		3歳	1	2	10	52	2	7	4				3	3歳							
4歳		4歳			12	40	3	2	3		1		4	4歳							
5歳		5歳			17	37	5	2	4				5	5歳							
6歳		6歳			6	16		1	4				1	6歳							
7歳		7歳			10	14	1						1	7歳							
8歳		8歳			3	17			1				1	8歳							
9歳		9歳			4	18							1	9歳							
10～14歳		10～14歳			10	34								10～14歳							
15～19歳	1	15～19歳				4								15～19歳							
20～29歳	1	20歳以上			1	13		1						20～29歳							
30～39歳	2													30～39歳							
40～49歳														40～49歳							
50～59歳														50～59歳							
60～69歳														60～69歳							
70～79歳														70歳以上							
80歳以上																					
合計	4	合計	7	10	81	429	30	69	19	12	1	2	17	合計							
前期計	3	前期計	5	10	58	334	22	54	15	14		1	20	前期計			1				
当期間/前期	1.33	当期間/前期	1.4	1	1.4	1.28	1.36	1.28	1.27	0.86	***	2	0.85	当期間/前期	***	***		***	***	***	***
増減数	1	増減数	2		23	95	8	15	4	-2	1	1	-3	増減数			-1				

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

\*\*\*は前期計が"0"のとき